<H14-7-A：問題>

図 7-1 のように、円曲線始点 BC、円曲線終点 EC からなる円曲線の道路の建設を計画している。曲線半径 R＝120m、交角 IA＝100 ° としたとき、建設する道路の円曲線始点 BC から曲線の中点 SP までの弦長はいくらか。最も近いものを次の中から選べ。

１．　89.88m
２．101.43m
３．108.25m
４．113.74m
５．183.85m

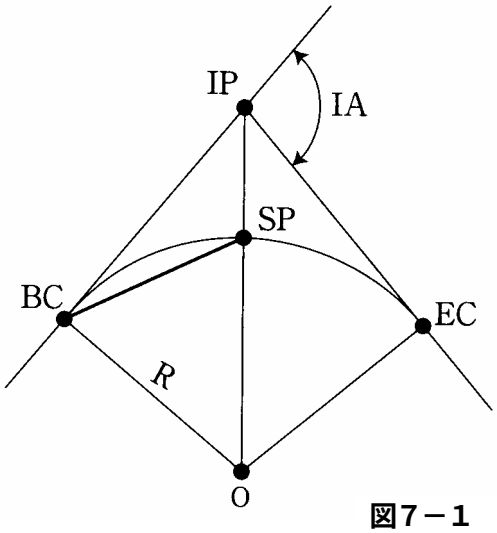

図７－１

© Matsubara P.O

<H14-7-B：問題>

次の文は、標準的な公共測量作業規定に基づいて実施する河川の距離標設置測量について述べたものである。 ア ～ オ に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

河川における距離標設置測量は、 ア の接線に対して イ の両岸の堤防のり肩又はのり面等に距離標を設置する作業を言う。距離標は左右両岸に設けるものとし、 ウ を見て左を左岸、右を右岸とする。距離標はあらかじめ河川の計画平面図又は地形図上に ア を入れ、これに沿って、河口又は幹川への合流点を エ として上流に向かって順次所定の距離ごとに位置を選定し、その オ に基づいて、近傍の 3 級基準点等から放射法等により設置する。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	河心線	鉛直方向	上流から下流	終点	標高値
2.	河心線	直角方向	下流から上流	終点	座標値
3.	河心線	直角方向	上流から下流	起点	座標値
4.	堤防中心線	直角方向	上流から下流	起点	座標値
5.	堤防中心線	鉛直方向	下流から上流	起点	標高値

© Matsubara P.O

<H14-7-C：問題>

次の文は、標準的な公共測量作業規定に基づいて実施する用地測量における境界測量について述べたものである。間違っているものはどれか。次の中から選べ。

１．距離測定において、補助基準点の観測は 2 回測定で行うが、境界点の観測は 1 回測定で行うことができる。
２．境界確認の完了後に、境界測量を行う。
３．境界測量とは、現地において境界点を測定し、その座標値、境界点間の距離及び方向角を求める作業をいう。
４．境界測量は、4 級以上の基準点に基づき、放射法により行うものとする。ただし、やむを得ない場合は、補助基準点を設置し、それに基づいて行うことができる。
５．境界測量の主な成果は、観測手簿、測量計算簿である。

© Matsubara P.O

<H14-7-D：問題>

図 7-2 のような、境界点 A、B、C を順に直線で結んだ境界線ABC で区割りされた甲及び乙の土地がある。甲及び乙の土地の面積を変えずに、境界線ＡＢＣを直線の境界線 AP に直したい。PC 間の距離をいくらにすればよいか。最も近いものを次の中から選べ。
なお、表 7-1 は、トータルステーションを用いて、現地で角度及び距離を測定した結果である。

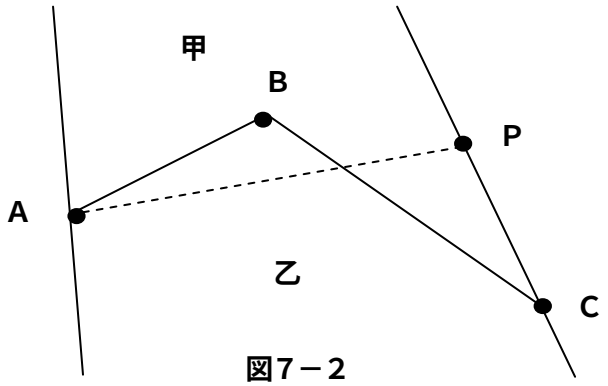

図７－２

角度及び距離	測定値
∠ＡＢＣ	120°0′0″
∠ＢＣＰ	30°0′0″
境界点Ａ,Ｂ間	20.000m
境界点Ｂ,Ｃ間	30.000m

表７－１

１．12.346m
２．14.846m
３．16.346m
４．18.846m
５．20.346m

© Matsubara P.O